

現代日本学専攻分野科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
現代日本学学芸分析特論Ⅰ	近代〈怪異〉表象の研究	2	茂木 謙之介	前期 火曜日 2講時	
現代日本学学芸分析特論Ⅰ	文芸社会史入門	2	高橋 章則 伴野 文亮	前期 水曜日 2講時	
現代日本学学芸分析特論Ⅱ	「マンガ」とは何か	2	岩下 朋世	通年集中 その他 連講	
現代日本学歴史分析特論Ⅰ	日本史文献購読・英訳	2	CRAIG CHRISTOPHE	前期 火曜日 3講時	
現代日本学社会分析特論Ⅰ	現代日本における家族と人口	2	田中 重人	後期 木曜日 2講時	
現代日本学日本哲学特論Ⅰ	未定	2	文学研究科教官	後期 木曜日 5講時	
現代日本学研究特論Ⅰ	近・現代における美術と宗教の 関係	2	君島 彩子	後期 水曜日 2講時	
現代日本学総合演習Ⅰ	現代日本学の実践	2	高橋 章則・田中 重人 CRAIG CHRISTOPHE 茂木 謙之介	前期 月曜日 5講時	
現代日本学総合演習Ⅱ	現代日本学研究の実践	2	高橋 章則・田中 重人 CRAIG CHRISTOPHE 茂木 謙之介	後期 月曜日 5講時	
現代日本学学芸分析研究演習Ⅰ	人物史から考える日本の近代・ 現代	2	雲然 祥子	前期 金曜日 2講時	
現代日本学歴史分析研究演習Ⅰ	日本史文献購読・英訳	2	CRAIG CHRISTOPHE	後期 火曜日 3講時	
現代日本学社会分析研究演習Ⅰ	現代日本における社会問題の 分析	2	田中 重人	前期 木曜日 2講時	

科目名：現代日本学学芸分析特論Ⅰ／ Japanese Studies Liberal Art (Advanced Lecture)Ⅰ

曜日・講時：前期 火曜日 2講時

セメスター：1学期 単位数：2

担当教員：茂木 謙之介

コード：LM12201, 科目ナンバリング：LJS-OHS601J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：近代〈怪異〉表象の研究

2. Course Title (授業題目): Research on the Representation of "kaii" in Modern Japan

3. 授業の目的と概要：本講義においては、近代に日本における〈怪異〉の表象について考える。しばしば日本における近代化は中央集権化と合理化によって説明される。では非合理的な〈怪異〉は如何なる近代を経験したのだろうか。近代の文化・文学現象を素材に、思想や政治、軍事、宗教など様々なトピックと関連させて議論を試みたい。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : In this course, we will consider the representation of "kaii" in modern Japan. Modernization in Japan is often explained in terms of centralization and rationalization. What kind of modernity did the irrational "kaii" experience? Using modern cultural and literary phenomena as materials, This course would like to discuss these phenomena in relation to various topics such as ideology, politics, military, and religion. This course calls for audiences active participation.

5. 学習の到達目標：近現代の〈怪異〉表象の検討を通して、日本学研究について知見を得ることができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : The purpose of this course is to help students better understand diversity in Japanese Studies while learning about the representation of modern "kaii".

7. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度予定は以下のとおりであるが、進行状況によって若干内容を変更する場合もある。

第1回 イントロダクション

第2回 怪異研究の現在

第3回 井上円了と「妖怪」

第4回 三遊亭圓朝と怪談の翻案

第5回 科学と千里眼事件

第6回 初期探偵小説の可能性

第7回 泉鏡花の圏域

第8回 昭和怪談ブーム

第9回 心霊と国家改造

第10回 戦争怪談の射程

第11回 オカルトブームの時代

第12回 水木しげると妖怪キャラクター

第13回 雑誌『ムー』とナショナリズム

第14回 Jホラーの拡散

第15回 まとめ

8. 成績評価方法：

履修者全体の上位 10%程度を「AA」とし、次に優秀な 20%程度を「A」とする。出席状況や課題レポートを総合的に評価する。

9. 教科書および参考書：

教科書は特に指定しない。参考書は適宜指示する。

10. 授業時間外学習：到達目標や授業内容に応じた準備学習が求められる。学外での調査も含まれる。

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：なし

科目名：現代日本学学芸分析特論Ⅰ／ Japanese Studies Liberal Art (Advanced Lecture) Ⅰ

曜日・講時：前期 水曜日 2講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：高橋 章則・伴野 文亮

コード：LM13201, 科目ナンバリング：LJS-OHS601J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：文芸社会史入門
2. Course Title (授業題目)：Introduction to the History of Society and the Arts
3. 授業の目的と概要：「書物の社会史」に関する基礎文献を取り上げ、文芸社会史研究の基盤を考察する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Students will take up the fundamental texts related to the humanities, cultural history, historical studies, and social history and will investigate the fundamentals of Japanese Studies
5. 学習の到達目標：「書物の社会史」に関する基礎文献を取り上げ、文芸社会史研究の基盤を考察する。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will gain an understanding of the significance of research in the history of society and the arts as a method for the study of Japanese culture.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
この科目では Google Classroom を使用して講義資料と講義情報を発信します。このクラスコードは です。Google Classroom にアクセスし、クラスコードを入力してください

授業計画

- 第1回：はじめにー日本学の課題を考えるー
- 第2回：文献・研究課題に関わるガイダンス
- 第3回：人文科学の課題
- 第4回：文化史学の課題
- 第5回：歴史学のなかの文化史学
- 第6回：「書物の秩序」
- 第7回：「読書の社会史」
- 第8回：文献学と文芸社会史
- 第9回：文芸社会史の研究①
- 第10回：文芸社会史の研究②
- 第11回：文芸社会史の研究③
- 第12回：日本学の課題と文芸社会史①
- 第13回：日本学の課題と文芸社会史②
- 第14回：日本学の可能性
- 第15回：まとめ

定期試験

8. 成績評価方法：
学期末のレポート [60%] と出席 [40%] (授業中の対話を含む)
9. 教科書および参考書：
教科書は使用せず、プリントを使って授業を進める。
R・シャルエ『読書の秩序』(文化科学高等研究院出版局)・その他、授業の中で随時紹介する。
10. 授業時間外学習：「書物の社会史」に関する基礎文献の把握に努める。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：現代日本学学芸分析特論Ⅱ／ Japanese Studies Liberal Art (Advanced Lecture) II

曜日・講時：通年集中 その他 連講

セメスター：集中 単位数：2

担当教員：岩下 朋世

コード：LM98801, 科目ナンバリング：LJS-OHS602J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：「マンガ」とは何か
2. Course Title (授業題目)：What Is "Manga"
3. 授業の目的と概要：マンガについて、その定義、歴史、ナラティブについて学ぶ。マンガは日本において大変ポピュラーな文化である。それだけに我々は「マンガとは何か」について、分かっているような気になってしまいがちである。しかし、この講義では新旧の様々な具体例を取り上げながら、「マンガとは何か」という問いが実はきわめて難しいものであることを示していく。受講者には議論への積極的な参加を求める。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Learn about the definition, history, and narrative of manga. Manga is a very popular culture in Japan. Because of this, we tend to think that we know something about "manga". However, it is actually very difficult to answer the question, "What is manga?". To illustrate this point, we take a variety of concrete examples, both old and new. Participants are encouraged to actively participate in discussions.
5. 学習の到達目標：マンガの歴史と表現について理解し、作品を分析するスキルを身につける。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Understand the history and expression of manga. Learn the skills to analyze manga.
7. 授業の内容・方法と進捗予定：
内容及び進捗予定は以下のとおりであるが、進行状況によって若干内容を変更する場合もある。
第1回 インTRODakShon
第2回 「マンガ」のさまざまな定義
第3回 「北斎漫画」はマンガか？
第4回 コマと物語
第5回 戦争とマンガ「のらくろ」を事例に
第6回 マンガと出版文化①
第7回 マンガと出版文化②
第8回 手塚治虫と少女マンガ
第9回 少女マンガにおける異性装
第10回 マンガにおけるイメージと言葉①
第11回 マンガにおけるイメージと言葉②
第12回 萩尾望都「半神」を読む
第13回 マンガを読む-受講者による発表①
第14回 マンガを読む-受講者による発表②
第15回 まとめ
8. 成績評価方法：
履修者全体の上位 10%程度を「AA」とし、次に優秀な 20%程度を「A」とする。出席状況や課題レポート、発表を総合的に評価する。
9. 教科書および参考書：
教科書は特に指定しない。参考書は適宜指示する。
10. 授業時間外学習：到達目標や授業内容に応じた準備学習が求められる。学外での調査も含まれる。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：現代日本学歴史分析特論Ⅰ／ Japanese Studies History (Advanced Lecture)Ⅰ

曜日・講時：前期 火曜日 3講時

セメスター：1学期 単位数：2

担当教員：CRAIG CHRISTOPHE

コード：LM12301, 科目ナンバリング：LJS-OHS603E, J, 使用言語：2カ国語以上

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：日本史文献購読・英訳
2. Course Title (授業題目)：Reading and Translation Fundamentals for Japanese History
3. 授業の目的と概要：購読と英訳を通じて、日本語の歴史文献を読書・翻訳の基礎技術を学ぶ。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Using student reading and translation presentations, this class aims at providing basic skills and practice in reading and translating Japanese academic history writing.
5. 学習の到達目標：将来の日本語の文献に関する事業のために基礎の読書と翻訳の能力を身に着ける。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：The purpose of this class is to provide a basis in reading and translation for future work involving academic, particularly historical, works in Japanese.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
この科目ではClassroomを使用して講義資料と講義情報を発信します。このクラスコードは6lttwpsです。Classroomにアクセスし、クラスコードを入力してください。

1. 文献の紹介
2. 文献購読・英訳
3. 文献購読・英訳
4. 文献購読・英訳
5. 文献購読・英訳
6. 文献購読・英訳
7. 文献購読・英訳
8. 文献購読・英訳
9. 文献購読・英訳
10. 文献購読・英訳
11. 文献購読・英訳
12. 文献購読・英訳
13. 文献購読・英訳
14. 文献購読・英訳
15. 文献購読・英訳

8. 成績評価方法：
翻訳・出席[70%] 提出翻訳[30%]

9. 教科書および参考書：
各時間に適宜資料を配布する。

Readings will be distributed for each class.

10. 授業時間外学習：各時間の前に適宜資料を読んで英訳する。
1回書いた英訳を提出する。

Students are expected to read and translate assigned sections for each class. All students will present their reading and translation in each class meeting. One polished translation is to be submitted for grading.

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：なし

Class instruction will be largely in English, but the source material will be in Japanese, making proficiency in both languages necessary.

科目名：現代日本学社会分析特論Ⅰ／ Japanese Studies Society (Advanced Lecture)Ⅰ

曜日・講時：後期 木曜日 2講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：田中 重人

コード：LM24201, 科目ナンバリング：LJS-0HS604J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：現代日本における家族と人口
2. Course Title (授業題目)：Family and Population in Modern Japan
3. 授業の目的と概要：特に家族制度と人口現象に注目して、近代以降の日本社会について講義する
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Lecture on family issues in contemporary Japanese society based on sociology and related fields: law, economics, population studies, and so on. Topics will be as follows: analysis of kinship, form and institution of the family, marriage and divorce, childbirth and childrearing, lifecycle and the family, population change and the family change.
5. 学習の到達目標：現代日本社会の分析のために必要な知識と方法を知る
6. Learning Goals(学修の到達目標)：To understand basic concepts and method to conduct research of contemporary Japanese society.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 第1回：はじめに：社会分析のための知識と方法
 - 第2回：法と規範
 - 第3回：法的な情報を調べる方法
 - 第4回：現代日本の家族法について受講生からの報告と討論
 - 第5回：現代日本の家族法について補足説明
 - 第6回：人口統計と人口現象
 - 第7回：20世紀日本社会の人口変動
 - 第8回：講義前半の振り返り
 - 第9回：ライフサイクルの変化
 - 第10回：近代化にともなう社会変動
 - 第11回：工業化と都市化
 - 第12回：イエ制度の解体と個人主義化
 - 第13回：日本的経営と福祉国家
 - 第14回：講義後半の振り返り
 - 第15回：講義全体のまとめと講評
8. 成績評価方法：
 - 授業中に課す課題および宿題による
9. 教科書および参考書：
 - なし
10. 授業時間外学習：各回の課題に対応する予習・復習と宿題
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
 - ※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness
 - 《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし
 - 授業資料は <http://tsigeto.info/c.html> に掲載予定。

科目名：現代日本学日本哲学特論Ⅰ／ Japanese Philosophy (Advanced Lecture) Ⅰ

曜日・講時：後期 木曜日 5 講時

セメスター：2 学期 単位数：2

担当教員：文学研究科教官

コード：LM24501, 科目ナンバリング：LJS-0HS605E, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：
2. Course Title (授業題目)：
3. 授業の目的と概要：
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：
5. 学習の到達目標：
6. Learning Goals(学修の到達目標)：
7. 授業の内容・方法と進度予定：
8. 成績評価方法：
9. 教科書および参考書：
10. 授業時間外学習：
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：現代日本学研究特論Ⅰ／ Japanese Studies Research (Advanced Lecture)Ⅰ

曜日・講時：後期 水曜日 2講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：君島 彩子

コード：LM23201, 科目ナンバリング：LJS-OHS606J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：近・現代における美術と宗教の関係
2. Course Title (授業題目) : The Relationship between Art and Religion in Modern and Contemporary
3. 授業の目的と概要：本講義は近代以降の美術と宗教の成立と展開について論じたい。戦争や災害そして疫病などによる死者慰霊のために作られたモニュメントや慰霊施設の事例をあげ、「信仰の形」と「記憶の継承」について考察する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : In this lecture, I will first discuss the establishment and development of art and religion since the modern era. Then, I will discuss the "form of faith" and "inheritance of memory" by looking at the examples of monuments and memorial facilities built to commemorate the dead of wars, disasters, and epidemics.
5. 学習の到達目標：・近・現代の日本宗教美術史の概要を把握する。
・戦争や自然災害の犠牲者の慰霊を通じて、美術と社会の関わりを理解する。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：・Understand the outline of modern and contemporary Japanese religious art history.
・Understand the relationship between art and society through memorials to victims of war and natural disasters.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
内容及び進度予定は以下のとおりであるが、進行状況によって若干内容を変更する場合もある。
第1回 イン트로ダクション：本講義全体の流れ
第2回 「宗教」と「美術」の成立
第3回 近代日本の宗教美術（絵画）
第4回 近代日本の宗教美術（明治期の彫刻・工芸）
第5回 近代日本の宗教美術（大正期の彫刻・工芸）
第6回 近代日本の宗教美術（昭和前期の彫刻・工芸）
第7回 近代日本の宗教美術（建築）
第8回 慰霊の形と記憶の継承（都市空襲犠牲者の慰霊）
第9回 慰霊の形と記憶の継承（原爆犠牲者の慰霊・広島）
第10回 慰霊の形と記憶の継承（原爆犠牲者の慰霊・長崎）
第11回 慰霊の形と記憶の継承（沖縄戦犠牲者の慰霊）
第12回 慰霊の形と記憶の継承（災害犠牲者の慰霊・近代）
第13回 慰霊の形と記憶の継承（災害犠牲者の慰霊・現代）
第14回 慰霊の形と記憶の継承（疫病）
第15回 総論：講義を振り返って
8. 成績評価方法：
履修者全体の上位 10%程度を「AA」とし、次に優秀な 20%程度を「A」とする。出席状況や課題レポートを総合的に評価する。
9. 教科書および参考書：
教科書は特に指定しない。参考書は適宜指示する。
10. 授業時間外学習：博物館や美術館での見学のほか、慰霊碑や仏像など学外での調査を積極的に行うことが望ましい。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：現代日本学総合演習Ⅰ／ Japanese Studies (Comprehensive Seminar)Ⅰ

曜日・講時：前期 月曜日 5 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：高橋 章則・田中 重人・CRAIG CHRISTOPHE・茂木 謙之介

コード：LM11501, 科目ナンバリング：LJS-0HS607J, 使用言語：2 カ国語以上

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：現代日本学の実践
2. Course Title (授業題目)：Innovative Japanese Studies (Practicum)
3. 授業の目的と概要：日本研究の方法と対象・領域について諸学問分野の基礎文献を取り上げ課題を設定し報告する。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Students will take up the fundamental texts of the various academic disciplines concerned with Japanese Studies and choose and present on a research topic.
5. 学習の到達目標：日本研究の方法の多様な方法論を実践的に習得し研究報告を行う中で課題を発見する。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students will learn to practically engage with the wide variety of methodological theories concerned with Japanese Studies and discover new issues while presenting their research.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
この科目では Google Classroom を使用して講義資料と講義情報を発信します。

授業計画

第1回：はじめに—日本学とは何か—

第2回：文献・研究課題に関わるガイダンス①

第3回：文献・研究課題に関わるガイダンス②

第4回：担当者による口頭発表と質疑応答①

第5回：担当者による口頭発表と質疑応答②

第6回：担当者による口頭発表と質疑応答③

第7回：担当者による口頭発表と質疑応答④

第8回：担当者による口頭発表と質疑応答⑤

第9回：担当者による口頭発表と質疑応答⑥

第10回：担当者による口頭発表と質疑応答⑦

第11回：担当者による口頭発表と質疑応答⑧

第12回：担当者による口頭発表と質疑応答⑨

第13回：担当者による口頭発表と質疑応答⑩

第14回：日本学の課題についての総合討論①

第15回：日本学の課題についての総合討論②まとめ

定期試験

8. 成績評価方法：
発表（レポートを含む）[60%] と出席 [40%]（授業中の対話を含む）

9. 教科書および参考書：
教科書は使用せず、発表資料を作成し発表・報告を行う。
参考書は授業の中で随時紹介する。

10. 授業時間外学習：報告に関する知見を拡充する。

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：なし

科目名：現代日本学総合演習Ⅱ／ Japanese Studies (Comprehensive Seminar) II

曜日・講時：後期 月曜日 5 講時

セメスター：2 学期 単位数：2

担当教員：高橋 章則・田中 重人・CRAIG CHRISTOPHE・茂木 謙之介

コード：LM21501, 科目ナンバリング：LJS-0HS608J, 使用言語：2 カ国語以上

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：現代日本学研究の実践
2. Course Title (授業題目)：Innovative Japanese Studies (Practicum)
3. 授業の目的と概要：日本研究の方法と対象・領域について諸学問分野の基礎文献を取り上げ課題を設定し報告する。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Students will take up the fundamental texts of the various academic disciplines concerned with Japanese Studies and choose and present on a research topic.
5. 学習の到達目標：日本研究の方法の多様な方法論を実践的に習得し研究報告を行う中で課題を発見する。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students will learn to practically engage with the wide variety of methodological theories concerned with Japanese Studies and discover new issues while presenting their research.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
授業の実施形態：ハイブリッド

授業計画

第1回：はじめに—日本学とは何か—

第2回：文献・研究課題に関わるガイダンス①

第3回：文献・研究課題に関わるガイダンス②

第4回：担当者による口頭発表と質疑応答①

第5回：担当者による口頭発表と質疑応答②

第6回：担当者による口頭発表と質疑応答③

第7回：担当者による口頭発表と質疑応答④

第8回：担当者による口頭発表と質疑応答⑤

第9回：担当者による口頭発表と質疑応答⑥

第10回：担当者による口頭発表と質疑応答⑦

第11回：担当者による口頭発表と質疑応答⑧

第12回：担当者による口頭発表と質疑応答⑨

第13回：担当者による口頭発表と質疑応答⑩

第14回：日本学の課題についての総合討論①

第15回：日本学の課題についての総合討論②まとめ

定期試験

8. 成績評価方法：
発表（レポートを含む）[60%] と出席 [40%]（授業中の対話を含む）

9. 教科書および参考書：
教科書は使用せず、発表資料を作成し発表・報告を行う。
参考書は授業の中で随時紹介する。

10. 授業時間外学習：報告に関する知見を拡充する。

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：なし

科目名：現代日本学学芸分析研究演習Ⅰ／ Japanese Studies Liberal Arts (Research Seminar)Ⅰ

曜日・講時：前期 金曜日 2講時

セメスター：1学期 単位数：2

担当教員：雲然 祥子

コード：LM15202, 科目ナンバリング：LJS-0HS609J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：人物史から考える日本の近代・現代
2. Course Title (授業題目)：A Study of Modern Japanese History and Social Situation from the Perspective of a Life of a Person
3. 授業の目的と概要：人が生きた背景には、歴史と時代情勢の変化がある。この授業では、受講生の興味・関心のある人物を1人取り上げ、その生涯や事績をたどる作業を行うことで、近代・現代の日本の歴史や社会情勢などを学ぶことを目的としている。
それらの作業によって、その人物が生きた時代に何が起こっていたのか、それがどのような影響を与えたのかなどを文献や史料を利用しながら考える。そして、今日の国内外における諸問題を考える手がかりをつかむ。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：When discussing and understanding Japanese history and social situation, one must always take into account the relevant background. In this course, the purpose is to study and understand about the history and social situation of modern Japan, with the case of a person's life (history and activities).
5. 学習の到達目標：歴史的な知識および思考力・表現力を身につける。
様々な史料の分析・読解を通して、当時の社会情勢を理解できる。
現実社会における課題を発見し、それに対して自らの意見を持ち、適切な言葉で整理できる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：To acquire historical knowledge, thinking and express ability.
To understand the social situation by analyzing and reading various historical materials.
To discover issues in modern society and organize opinions in appropriate words.
7. 授業の内容・方法と進捗予定：
第1回 ガイダンス
第2回 課題の設定・先行研究の調査・注意事項
第3回 ケーススタディ（事例報告①）
第4回 受講生による発表
第5回 受講生による報告・議論①
第6回 受講生による報告・議論②
第7回 受講生による報告・議論③
第8回 受講生による報告・議論④
第9回 ケース・スタディ（事例報告②）
第10回 受講生による報告・議論⑤
第11回 受講生による報告・議論⑥
第12回 受講生による報告・議論⑦
第13回 受講生による報告・議論⑧
第14回 これまでの報告・議論のまとめ
第15回 授業のまとめ・期末レポート作成に向けて
8. 成績評価方法：
授業中の課題（20%）、報告・討論（30%）、レポート（50%）を総合的に評価する。
9. 教科書および参考書：
教科書は使用しない。各自でレジュメを作成し、それに基づいた報告を行うこととする。
参考書については、授業の中で適宜紹介する。
10. 授業時間外学習：史料・文献などを利用し、授業で学んだことをふまえて、報告者の研究テーマに関する史実や当時の社会情勢などを事前に学習しておくこと。
11. 実務・実践的授業/Practical business
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
《実務・実践的授業/Practical business》
12. その他：なし

科目名：現代日本学歴史分析研究演習 I / Japanese Studies History (Research Seminar) I

曜日・講時：後期 火曜日 3 講時

セメスター：2 学期 単位数：2

担当教員：CRAIG CHRISTOPHE

コード：LM22303, 科目ナンバリング：LJS-0HS610E, J, 使用言語：2 カ国語以上

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：日本史文献購読・英訳
2. Course Title (授業題目) : Reading and Translation Fundamentals for Japanese History
3. 授業の目的と概要：購読と英訳を通じて、日本語の歴史文献を読書・翻訳の基礎技術を学ぶ。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : Using student reading and translation presentations, this class aims at providing basic skills and practice in reading and translating Japanese academic history writing.
5. 学習の到達目標：将来の日本語の文献に関する事業のために基礎の読書と翻訳の能力を身に着ける。
6. Learning Goals (学修の到達目標) : The purpose of this class is to provide a basis in reading and translation for future work involving academic, particularly historical, works in Japanese.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
この科目では Classroom を使用して講義資料と講義情報を発信します。
 1. 文献の紹介
 2. 文献購読・英訳
 3. 文献購読・英訳
 4. 文献購読・英訳
 5. 文献購読・英訳
 6. 文献購読・英訳
 7. 文献購読・英訳
 8. 文献購読・英訳
 9. 文献購読・英訳
 10. 文献購読・英訳
 11. 文献購読・英訳
 12. 文献購読・英訳
 13. 文献購読・英訳
 14. 文献購読・英訳
 15. 文献購読・英訳
8. 成績評価方法：
翻訳・出席[70%] 提出翻訳[30%]
9. 教科書および参考書：
各時間に適宜資料を配布する。
Readings will be distributed for each class.
10. 授業時間外学習：各時間の前に適宜資料を読んで英訳する。
1 回書いた英訳を提出する。
Students are expected to read and translate assigned sections for each class. All students will present their reading and translation in each class meeting. One polished translation is to be submitted for grading.
11. 実務・実践的授業/Practical business
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
《実務・実践的授業/Practical business》
12. その他：なし
Class instruction will be largely in English, but the source material will be in Japanese, making proficiency in both languages necessary.

科目名：現代日本学社会分析研究演習Ⅰ／ Japanese Studies Society (Research Seminar)Ⅰ

曜日・講時：前期 木曜日 2講時

セメスター：1学期 単位数：2

担当教員：田中 重人

コード：LM14202, 科目ナンバリング：LJS-0HS611J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：現代日本における社会問題の分析
2. Course Title (授業題目)：Research of Social Problems in Modern Japan
3. 授業の目的と概要：家族制度・人口変動・社会政策を中心として、近代以降の日本における社会問題の変遷を学ぶ
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Seminar to develop students' skills for research of social problems in modern Japan.
5. 学習の到達目標：社会問題を分析するための基本的なスキルを習得する
6. Learning Goals(学修の到達目標)：To acquire skills of the survey of literature and statistics, reading, logical and critical thinking, and discussion.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
受講者各自の関心にしたがって文献調査を行い、途中経過の報告と討論を行いながら日本近代史に関するレポートを作成する。
第1回：はじめに：この授業での課題設定と調査の方法
第2回：近代日本における家族制度・人口変動・社会政策の概要
第3回：課題設定のための討論
第4回：文献検索とデータベース利用
第5回：近代日本の統計システム
第6回：統計資料の評価と活用
第7回：各自のテーマと先行研究について報告と討論
第8回：近代史研究のための専門用語と理論体系
第9回：アイデアの創出
第10回：アイデアの交換と建設的批判
第11回：途中経過の報告と討論
第12回：プロジェクトとしての近代史研究
第13回：研究の倫理
第14回：発表会
第15回：発表内容についての講評および期末レポート作成に向けての注意事項
8. 成績評価方法：
授業中の課題（30%）、途中経過等報告と討論での発言（30%）、期末レポート（40%）
9. 教科書および参考書：
佐藤望ほか（2020）『アカデミック・スキルズ』（第3版）慶應義塾大学出版会
10. 授業時間外学習：授業で指示する課題をこなしながら、各自の関心にしたがって研究プロジェクトを進める
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし
授業資料は <http://tsigeto.info/study/> に掲載予定。